

(平成28年 8月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>8月の水産物は、日本列島に上陸した4つの台風により、特に東北から北海道の海域にかけて、大きな影響を受けた。そのため、総入荷量は、前年同月に比べると鮮魚、冷凍魚、加工水産物の全てで入荷量が下回り、全体として8%下回った。</p> <p>取扱金額は、冷凍魚は前年同月並みとなったが、鮮魚、加工水産物は取扱金額が減少となり、全体として前年同月と比べ4%下回った。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>8月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ7%下回ったことから、平均単価は6%上回った。</p> <p>品目別には、よこわ、あまだい等が好漁で入荷が上回ったため、価格は値下がりした。はも、ひらめ、さんま等は漁獲の減少により入荷が下回ったため、価格は値上がりした。</p> <p>9月には、7月より禁漁となっていた山陰沖日本海で、1日より底引き網漁が解禁となり、にぎす、かれい類等の入荷が増えてくる。9月～10月はかますが脂がのって美味しい時期となる。またさんま、秋さばは盛漁期となるが、これまでのところ漁が低調であり、今後の漁が期待される。</p>
冷 凍 魚	<p>8月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ7%下回ったことから、平均単価は10%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけは主体のチリ産銀さけの価格が値上がりしたことから、入荷は下回った。海外養殖えびはブラックタイガー種の値上がりが続いており、冷えび全体の平均価格も値上がりとなっていることから、入荷は下回った</p> <p>9月もブラックタイガー種の値上がりは、続きそうな気配である。ブリストル湾さけ漁は、今年も昨年に続き好調な漁獲となったことから、安定した供給が見込まれる。</p>

加工水産物	<p>8月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ12%下回ったが、平均単価は前年並みであった。</p> <p>品目別には、塩さんま、ちりめんは入荷が大きく減少したため、価格は値上がりとなった。開干あじは、入荷が上回ったことから、価格は値下がりした。</p> <p>9月には、塩さんまの時期であるが、9月初めの入荷は1箱（7.5KG入）50尾、55尾の中小型サイズが主体で、40尾、45尾の大型サイズは極わずかとなっている。また旬を迎える開干かますは、一夜干しをして水分を飛ばしてあるので、旨味が凝縮してとても美味しい。</p>
-------	---

※生鮮魚：鮮魚，貝類，淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	京都，長崎で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ16%上回ったため，価格は4%下回った。
ま い わ し	愛知，大阪で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ11%下回ったが，小型サイズが多かったため，価格は2%下回った。
さ ば	三重，長崎で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ4%下回ったが，小型サイズが多かったため，価格は7%下回った。
す る め い か	青森，北海道で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月並みであったが，前年からの不漁続きで，価格は6%上回った。
太 物	入荷量はめばちまぐろは39%，本まぐろは12%下回ったが，きはだまぐろが44%上回ったことから，太物類の総入荷量は前年同月と比べ4%上回ったため，価格は3%下回った。
は も (近海)	兵庫，愛媛で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ15%下回ったため，価格は35%上回った。
か ま す	長崎，鳥取で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月並みであったが，需要が強く価格は14%上回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月並みであったが，国内産の値上がりで，価格は5%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ39%下回ったため，価格は22%上回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は北海道，ロシア産の塩紅さけの入荷が減少したが，アメリカ産塩紅さけ，チリ産銀さけの入荷が増加したことから，全体では前

塩　　ま　　す	<p>年同月並みであったが，低価格の塩銀さけが入荷を伸ばしたことから，価格は４％下回った。</p> <p>北海道産主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ２０％下回ったが，需要が弱く価格は１０％下回った。</p>
---------	--